

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公開番号】特開 2005-117556 (P2005-117556A)

【公開日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-017

【出願番号】特願 2003-352359 (P2003-352359)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 N

G 1 1 B 20/10 G

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/12 1 0 3

H 0 4 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 11 日 (2006.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ランダムアクセス可能な記録媒体上に記録され、MPEG-2 トラnsポート方式によって時分割多重化圧縮されたビデオ信号とオーディオ信号からなるストリームデータの編集を行なう方法において、分割編集位置から前方のストリームデータに対応するオーディオ信号が前記分割編集位置を跨いで後方のストリームデータ中に存在する場合、前方のストリームデータには、該オーディオ信号を含み、且つ前記分割編集位置から該オーディオ信号間のビデオ信号をダミーデータに書き換えたTSパケットデータを追加し、前記分割編集位置から後方のストリームデータには、該オーディオ信号のTSパケットデータをダミーデータに書き換える編集を施すことを特徴とするMPEG-2 トラnsポートストリーム編集方法。

【請求項 2】

前記ダミーデータは、NULLデータであることを特徴とする請求項 1 に記載のMPEG-2 トラnsポートストリーム編集方法。

【請求項 3】

編集後のストリームデータを再生する場合には、前記ダミーデータは読み飛ばすことを特徴とする請求項 1 に記載のMPEG-2 トラnsポートストリーム編集方法。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載のMPEG-2 トラnsポートストリーム編集方法を
実行する編集装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明のMPEG-2トランスポートストリーム編集方法は、上記目的を達成するため、ランダムアクセス可能な記録媒体上に記録され、MPEG-2トランスポート方式によって時分割多重化圧縮されたビデオ信号とオーディオ信号からなるストリームデータの編集を行なう方法において、分割編集位置から前方のストリームデータに対応するオーディオ信号が前記分割編集位置を跨いで後方のストリームデータ中に存在する場合、前方のストリームデータには、該オーディオ信号を含み、且つ前記分割編集位置から該オーディオ信号間のビデオ信号をダミーデータに書き換えたTSパケットデータを追加し、前記分割編集位置から後方のストリームデータには、該オーディオ信号のTSパケットデータをダミーデータに書き換える編集を施すことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明の編集装置は、上記MPEG-2トランスポートストリーム編集方法を実行することを特徴とする。